小平市地域自立支援協議会第４回全体会　議事要録

**【日　　時】**　令和３年１月２５日（月）午後２時～４時

**【会　　場】**福祉会館小ホール

**【会場参加】**１２名

【**WEB参加**】　　４名

【**欠席者**】　　２名

**【事 務 局】**［障がい者支援課］課長　課長補佐　係長３名　事務局

【**支援者**】　手話通訳２名

**【傍　 聴】**２名

**【配付資料一覧】**

（１）小平市地域自立支援協議会第４回全体会次第、配付資料

（２）小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害福祉計画・第二期小平市障害児福祉計画

　　　（案）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料１）

（３）小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害・第二期小平市障害児福祉計画（素案）に対する市民意見公募（パブリックコメント）の結果について　　　　　（資料２）

（４）小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害計画・第二期小平市障害児福祉計画（素案）市民懇談会における主な意見について　　　　　　　　　　　　　　（資料３）

（５）小平市地域生活支援拠点等の整備に向けたスケジュール（案）　　　　　（資料４）

（６）小平市地域自立支援協議会のしくみ（案）　　　　　　　　　　　　　　（資料５）

（７）小平市地域自立支援協議会幹事会開催報告　　　　　　　　　　　　　　（資料６）

（８）小平市在宅介護者の受入体制整備事業について　　　　　　　　　　　　（資料７）

（９）令和３（２０２１）年度　小平市地域自立支援協議会開催一覧（案）　　（資料８）

（１０）パブリックコメントの意見反映をした修正箇所など（主なもの）　　　（資料９）

（１１）小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害・第二期小平市障害児計画に対する意見　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（資料１０）

（１２）小平市自立支援協議会　地域部会報告書　　　　　　　　　　　　　（資料１１）

**１　開会**

　　会長より開会の挨拶があった。

**２　配付資料**

　　事務局より配付資料の確認があった。

**３　小平市障がい者福祉計画・第六期小平市障害福祉計画・第二期小平市障害児福祉計画策定の進捗状況について**

　　事務局より、資料１・資料２に基づきパブリックコメントで出た意見について、計画（案）にどのように反映したか報告があった。

　　資料１・資料１０に基づき、自立支援協議会で出た意見について、計画（案）にどのように反映したか報告があった。

質疑応答

【会　　長】下記の名称について

（１）地域自立支援協議会

障害者基本法改正のなかで自立助長の理念が削除されていることから、自立の名称を廃し、「地域協議会」とした方が良いと考える。（資料１０、項目３）

（２）小平市障がい者福祉計画

本来的には、福祉以外の分野を含む幅広い計画になっているため、福祉の名称を廃した方が良いと考える。

【事 務 局】（１）「自立支援」を廃し、「地域協議会」と名称を変更すると、市内の自治会などの仕組みと名称が重なってしまう。また、「地域支援」という言葉は、高齢者の分野でも地域支援という言葉を使っており、名称が重なる。名称については慎重に検討する必要がある。

　　　　　 （２）障がい者福祉計画は、障がい者支援課に留まらず、東京都や国を含めた政策サイドで策定していくものだと理解している。市としては、今回の計画策定の中では特に議論されていない。市としては、６年間の障がい者福祉計画を作っていくことを考えていた。今後の課題として、議論していきたい。

【会　　長】　　項目４～項目７は、今回の計画には盛り込まないとされているが、意見はあるか。（資料１０）

【事 務 局】　　項目４については、「任意事業に追加」となるため、今後、市の内部で検

討していきたい。また、実行プランに載せていきたい。項目５～項目７は、すでに実行プランに載せているが、実現していない。今後も検討を重ねていく。（資料１０）

　　　　　　　　項目７については、報酬改正により、サービス提供事業所がある程度淘汰された。一方、小平市では３～４か所増えている。今後も新規の事業所はできる限り作っていただきたい。そういった働きかけはしていきたい。

　【Ｊ 委 員】　 項目４～７のようなサービスが必要な人たちを支援している立場として、今後も当事者のニーズを確認しながら自立支援協議会の場などで話し合いたい。

【副会長】　 計画を策定する中で、新型コロナウイルス感染対策について記載する予定はあるか。

【事 務 局】　 令和３年度に向けて、現在予算を要求しているところである。消耗品等の備品に関する予算は、東京都が事業所単位で継続していくと思われる。

ＰＣＲ検査については、令和３年度に実施できるか現時点では未定である。計画策定までにどの事業が実施可能かどうかの結論が出ないため、計画には記載しないが、その都度補正予算を組むなどして、事業の実施を行っていく。

【Ｐ 委 員】　成年後見制度利用支援事業の見込み量の内容は、申し立て費用のみか、それとも成年後見人の報酬助成費用まで含まれているのか。（資料１、Ｐ１３６）

【事 務 局】　申し立て費用と、後見人の報酬助成費用の両方が含まれている。

【会　　長】　障がい分野の課題は、市全体で取り組むべきもの。いろいろな場所で訴えていく必要がある。

**４　地域生活支援拠点の協議について**

　　事務局と会長より資料４・資料５に基づき、スケジュール案と、地域生活支援拠点の目的や内容について報告があった。地域生活支援拠点ワーキングのメンバーが選出され、承認された。

　質疑応答

【Ｊ 委 員】 小平市地域自立支援協議会のしくみの図のなかに、「福祉分野ＮＰＯ団体」と「小平市地域公益活動推進連絡会」を新たに記載した。小平市地域公益活動推進連絡会は、社会福祉法人の連絡会組織であり、経営者目線で社会福祉法人の地域貢献事業について話し合いが行われる。地域生活支援拠点について、共生社会という観点で、様々な政策について考える場が必要と考える。（資料５）

分科会の構成として、現時点では４つの分科会が挙げられているが、他に、日中活動を支援する通所先、訪問看護や医療系、権利擁護事業等、不足する部分があると感じている。連携が必要であるため、検討を重ねていく。（資料５裏面）

【Ｃ 委 員】　第１回目の地域生活支援拠点等ワーキングは、１～４の分科会のメンバーに出席していだたくという認識で良いか。（資料４）

【事 務 局】第１回目は、全メンバーに集まっていただきたい。日程は今後案内する。

【Ｃ 委 員】第２回目以降、検討事項を協議していくことになると思うが、必要に応じて、小平市内の様々な団体にも声をかけて良いか。

【会　　長】基本的にはワーキングのメンバーの方が、他の関係者の意見も聞いた上で分科会や全体会に参加していただきたい。

【事 務 局】ワーキングメンバーの方は、各分野の代表者と考えているので、意見を取りまとめていただいた上で出席してほしい。併せて、ワーキングで話し合った内容を事業所への情報提供もお願いしたい。

【会　　長】会議の進め方は、今後検討し、提案させていただく。

【副会長】地域生活支援拠点の整備に向けて、基幹相談支援センターの設置について、市はどのように考えているか。

【事 務 局】計画にも盛り込んでおり、市としても早急に設置したいと考えている。

【副会長】地域生活支援拠点の協定書を結んだ際、基幹相談支援センターの役割・機能

が決まっていない場合は、最初は市が基幹の役割を担うと考えて良いか。

【会　　長】現状、決まっていない。今後、相談支援分科会等で検討していく必要がある

と考える。

**５　幹事会及び困難事例研究報告**

　副会長より、資料６に基づき報告があった。

**６　会議報告**

（１）地域部会

　Ｎ部会長より、資料１１に基づき報告があった。

（２）当事者・情報部会

　Ｂ部会長より、報告があった。

　令和３年１月２２日（金）に健康福祉事務センター第３・４会議室にて第３回当事者・情報部会を開催した。今年度、当事者ワーキングは３回開催する予定であったが、第１回と第３回は、新型コロナウイルス感染予防の為中止となった。

令和３年度の会議開催日程は資料８の通り。これまで、会議の日程を幹事会や全体会と同日に設定していたが、会議が終日続くことで体調を崩しやすいという意見があったため、幹事会と別日程で行うこととした。

　今年度から新たに、Ｏ委員・Ｆ委員が委員に加わった。９月の当事者情報部会と１０月のワーキングでは、Ｏ委員よりＩＣＴ機器の実際・活用方法について講義いただき、情報保証について学ぶ機会になった。また、ワーキングでは、初めて聴覚障がいの方が参加された。今後、障がい特性に沿った情報保証の在り方やワーキング方法を検討していく。来年度に向けて、感染防止に取り組んでいく必要があるため、ＺＯＯＭ等の通信回線を利用し、交流の在り方を考えていく。

また、地域生活支援拠点事業の概要について、事務局より説明をいただく機会があった。

**７　令和２年度東京都自立支援協議会セミナーについて**

Ｇ委員より、報告があった。

１２月１４日（月）に、令和２年度東京都自立支援協議会セミナー開催された。小平市からはＧ委員・副会長・Ｊ委員の３名が参加した。「当事者の多様な思い・語りを聞くための仕組みを考える」というテーマで、第一部は、当事者の多様な思い・語りを聞くための情報提供の在り方に関する講演、第二部は障がいがある方と、その支援者のパネルディスカッションが行われた。ＡＬＳ患者の話等を聞いてきた。詳細は、東京都心身障害者福祉センターのホームページを見ていただきたい。

**８　情報提供**

（１）小平市在宅要介護者の受入体制整備事業について

事務局より、資料７に基づき説明があった。市内全ての事業所に通知済みである。

質疑応答

【Ａ 委 員】事業所で新型コロナウイルスの感染事案があった場合、きちんと情報共有してほしい。また、そのようなときの対処方法を示してほしい。

【事 務 局】市内事業所でそのような事案があった際は、市に情報が届いている。市内の事業所には通知済で、市のケースワーカーにも周知してある。

【会　　長】事業所で発生した場合は、基本的には濃厚接触者の定義の下、個別に判断していくと思われる。

【Ｊ 委 員】エビデンスで定められている内容以降のルールは、事業所ごとに異なるように感じる。利用者、支援者、事業所がルールを共有できていれば、安心できる部分が大きいと思う。

【Ｂ 委 員】他市では、コロナが発生した事業所、事業所内の濃厚接触者の人数、ＰＣＲ検査の結果についてホームページで報告されている。状況が分かれば安心できると思う。

【事 務 局】コロナが発生した場合、各事業所から個別に報告いただいている。市としては、クラスターが発生した場合は、発表したいと考えている。現状では、陽性者が出ても濃厚接触者がいない状況が続いている。任意のＰＣＲ検査を希望する事業所に対しては、利用者も含めて２万円の範囲内でＰＣＲ検査の費用補助を行っている。

　　　　　　事業所同士が連携を図りながら対応していくことで、クラスター発生を防いでいく。

【Ｊ 委 員】制度上の確認になるが、障がい児の場合はどのように対応するか。

【事 務 局】障がい者と同一の対応となる。

（２）リモート参加の委員より所感

【Ｇ 委 員】委員の発言が聞き取りづらいときがあった。挙手をしても、気付いてもらえない場面があった。次回以降、司会進行の際、配慮していただきたい。

【Ｏ 委 員】もう１台ＰＣを用意して、そのＰＣを議長席に配置し、議長が音声をモニターしながら進行すると良い。イヤホンで聞いていれば、ＺＯＯＭ参加者が聞こえているかどうかが分かる。マイクの改善等も必要。

【副会長】当事者部会ではＩＣＴの活用に取り組んでいるので、今後も意見をいただきながら改善していきたい。

（３）福祉の仕事相談会について

事務局より、説明があった。

福祉の仕事相談会を令和３年１２月４日にルネこだいらで開催する予定。今後、サービス提供事業所の方を中心に、実行委員会を立ち上げる予定。

**９　閉会**

副会長より閉会の挨拶があった。

〇今後の予定

（１）第４回幹事会

　　　日時　令和３年３月２６日（金）午後２時～午後４時

　　　会場　健康福祉事務センター第３・４会議室

（２）第３回地域部会

　　　日時　令和３年３月２６日（金）午後４時３０分～午後６時３０分

　　　会場　健康福祉事務センター第３・４会議室